

青雲



【目指す学校像】

学びと感動と温かさのある学校

- 【教育目標】
- 1 自主・自学の向上心を持ち、真剣に学習する生徒
 - 2 礼節の中に思いやりを持ち、互いに認め合う生徒
 - 3 心身を鍛え合い、たくましく生きる生徒

【校訓】 『親和一誠』『自発協力』

謹んで新年のご挨拶を 申し上げます



平成30年が静かで穏やかに明けました。旧年中は保護者の皆様並びに地域の皆様に様々なご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。本年は昨年以上の躍進を遂げられるよう教職員一同心を一つにしてまい進して参りますので、ご支援、ご協力をいただきますようお願い致します。

一年の計は元旦にあり

レベルアップした二中を目指して

始業式にあたって校長より次のように生徒に向けて話がありました。

「自分のいいところを伸ばすために」

校長式辞より抜粋

明けましておめでとうございます。3学期の始まりにあたって、いつも話していること「**凡事徹底**」と「**一段高いところを目指して、いい集団の中で一人一人を輝かせていこう**」ということに加えて、この言葉を紹介します。

『**夢のある者は、希望がある。**

希望のある者は、目標がある。

目標がある者は、行動がある。

行動のある者は、実績がある。

実績のある者は、反省がある。

反省のある者は、進歩がある。』



自分のいいところを伸ばすためには、具体的な行動を地道に積み上げていくことが必要なのでしょう。時にはこの方向でいいのかと迷ったり、悩んだりすることもあるでしょうが、まずは具体的に動いてみて、次の手を考えていく。こんな積み重ねが私たち一人一人を伸ばしていくのだらうと思っています。

「一年の計は元旦にあり」、君たちが立ててきた「新年の抱負」の実現に向けて、それぞれが確かな実践を重ねてください。

まとめの3学期です。3年生は広い世界、高校での新たな生活に向けて。2年生は最上級生に、1年生は後輩を迎えるための準備をおさおさ怠ることなく進めましょう。詰めの3学期、1日1日を丁寧に頑張りましょう。

「中学校」ってどんなところ？

中学校生活を学ぶ会

12月14日（木）に杉の入小学校の6年生を本校に招いて、「中学校生活を学ぶ会」を行いました。小中一貫教育の一つとして行ったもので、中学校入学前に不安を抱いている6年生に中学1年生が



中学校での生活について教えたり質問に答えたりするという活動を行いました。グループに分かれて学習や部活動生活のきまりなどについて説明をしました。生徒達は、小学生に通学鞆を背負わせたり、部活の道具を持たせたり、ノートや教科書を見せるなどして、分かりやすく説明しよう工夫しました。活動をとおして中学校での成長を実感していることが伺われました。

引率をされた小学校の先生からは、次のような感想が寄せられました。

◇「中学校生活を学ぶ会」の翌日に書かせた作文ノートには、中学校生活への不安が楽しみに変わったという児童がたくさんいた。

◇中学校生活について不安を抱いていた児童も、「中学校生活を学ぶ会」に参加し、安心して進学できると思う。小中一貫によって児童が安心して進学できるのはよいと思う。

互いの良さを生かして

学び合いに取り組んでいます

「学び合い」という言葉がいろいろなところで聞かれるようになりましたが、二中でも実践をしています。これまでの主な取り組みについてご紹介します。

1年生では数学で行っています。3人で机を付けてグループをつくり、教科担当の先生が出す少しレベルの高い課題を仲間と協力して解きます。分かった生徒が分からない生徒に工夫して教える活動をとおして、分かっている生徒は深めることができ、分からなかった生徒は、ヒントをもらうことで、理解するきっかけをもらうことができます。

2年生では国語で行っています。机を隣同士付けてペアをつくり、課題に対して自分の考えた答えを説明したり、相談したりします。活動をとおして思考を深めることができ、深い読みをするためのきっかけとしています。

3年生では数学で行っています。机を「コの字型」に付けて座り、課題に対して相談したり教え合ったりして学習に取り組んでいます。一人の気づきや発見を共有し合うことで学びを深めることにつなげています。



1年生の学び合い



2年生の学び合い



3年生の学び合い

